経営比較分析表（令和6年度決算）

岐阜県　土岐市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**普及率(%)**	**有収率(%)**	**1か月20m³当たり家庭料金(円)**
-	77.01	84.89	68.23	3,300

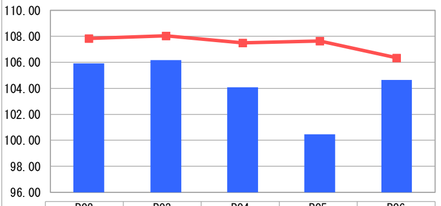
人口（人）	面積(km²)	人口密度(人/km²)
54,243	116.02	467.53
処理区域内人口(人)	**処理区域面積(km²)**	**処理区域内人口密度(人/km²)**
45,778	18.42	2,485.23

グラフ凡例
- ■　当該団体値（当該値）
- ー　類似団体平均値（平均値）
- 【】　令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)

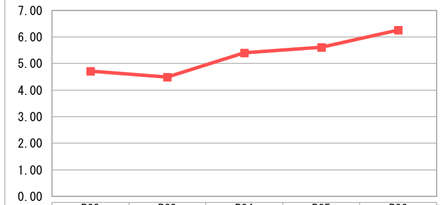
【105.36】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	105.93	106.18	104.07	100.47	104.64
平均値	107.85	108.04	107.49	107.64	106.35

②累積欠損金比率(%)

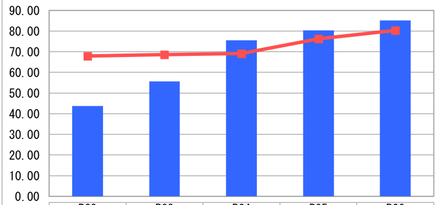
【3.12】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	4.72	4.49	5.41	5.61	6.26

③流動比率(%)

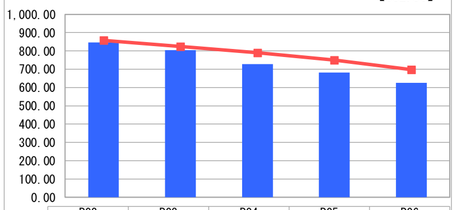
【82.75】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	43.63	55.69	75.48	80.36	85.22
平均値	67.93	68.53	69.18	76.32	80.33

④企業債残高対事業規模比率(%)

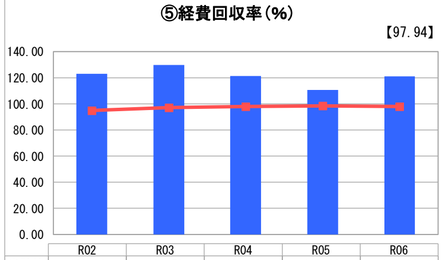
【602.56】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	846.04	804.93	728.81	682.63	626.05
平均値	857.88	825.10	789.87	749.43	698.04

⑤経費回収率(%)

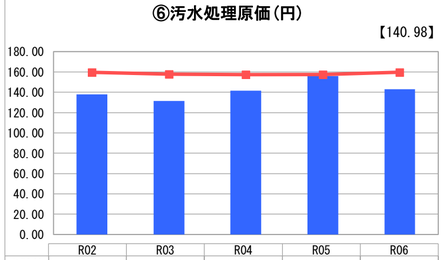
【97.94】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	123.06	129.79	121.28	110.66	121.14
平均値	94.97	97.07	98.06	98.46	97.98

⑥汚水処理原価(円)

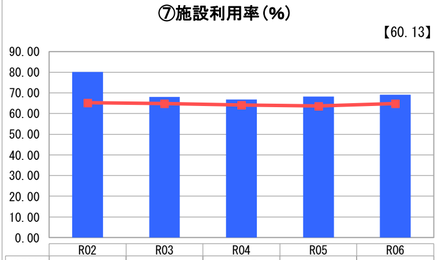
【140.98】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	137.82	131.28	141.54	155.88	143.03
平均値	159.49	157.81	157.37	157.45	159.75

⑦施設利用率(%)

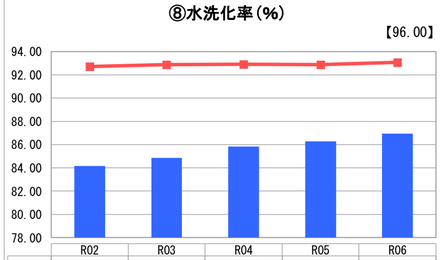
【60.13】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	80.08	68.14	66.87	68.32	69.08
平均値	65.28	64.92	64.14	63.71	64.95

⑧水洗化率(%)

【96.00】

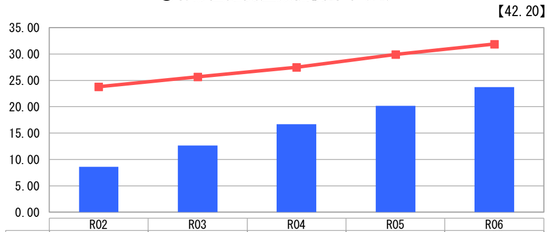


	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	84.15	84.86	85.85	86.29	86.95
平均値	92.72	92.88	92.90	92.89	93.08

2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

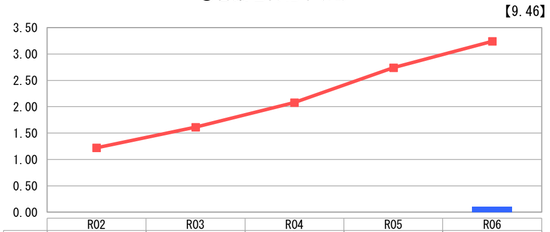
【42.20】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	8.59	12.63	16.66	20.17	23.70
平均値	23.79	25.66	27.46	29.93	31.89

②管渠老朽化率(%)

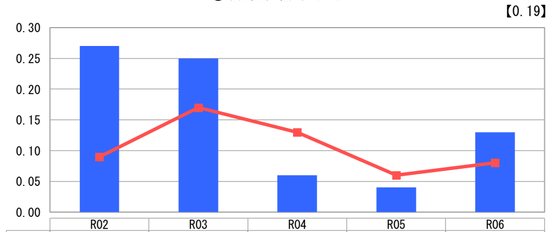
【9.46】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10
平均値	1.22	1.61	2.08	2.74	3.24

③管渠改善率(%)

【0.19】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	0.27	0.25	0.06	0.04	0.13
平均値	0.09	0.17	0.13	0.06	0.08

※　「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、資産減耗費の減少により前年度比で増となり、単年度の収支が黒字であることを示す100%以上となっている。
②累積欠損比率は、累積欠損金が発生しておらず0%となっており、経営は健全であるといえる。
③流動比率は、引き続き増加しているが100%を下回っている。今後も、支払能力を高めるための経営改善が必要である。
④企業債残高対事業規模比率は、減少傾向にあり、他団体の平均を下回っているが、今後老朽施設の更新に伴う新規借入が増加するため比率が高くなることが見込まれる。
⑤経費回収率は、100%以上となり、汚水処理に係る費用を使用料収入で賄えているといえる。
⑥汚水処理原価は、類似団体と比較し低いが、今後施設の老朽化に伴い維持管理費が増加すると予測される。未普及地域での整備を進めるとともに、水洗化率の向上を図り、有収水量の増加に努める必要がある。
⑦施設利用率は、類似団体の平均と比較し高い数値となっており、適切な施設利用がされているといえる。
⑧水洗化率は増加傾向にあるが、類似団体の平均を下回っており、今後も水洗化率向上に取り組む必要がある。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、法適用6年目で減価償却累計額は6年分のみとなるため、低い数値となっている。
③管渠改善率は、前年度比で増となり、類似団体の平均を上回っている。今後も、令和元年度に策定したストックマネジメント計画を基に、優先度の高い箇所から計画的に改築・更新を行っていく。

全体総括

今後は管きょ施設の老朽化に伴い、不明水の増加が予測され、また下水道の維持管理に必要な資材等の物価上昇等により、改築・維持修繕費用の増加が見込まれる。しかし、人口減少や住民の節水意識の高まり等に伴い、使用料収入は減少することが予想される。下水道事業を持続・安定的に提供していくために、今後も適正な事業計画と財政計画に基づく事業運営を行う必要があり、ストックマネジメント計画を反映させ策定した経営戦略に基づき、適正な改築更新を行うとともに、引き続き下水道接続促進による使用料収入の増加を目指しつつ、業務の効率化とコスト削減に努める。